



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 中部飼料株式会社
 コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 井藤 直樹
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

TEL 052-562-2010

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	36,735	15.2	668	59.5	784	43.2	495	45.3
25年3月期第1四半期	31,888	△5.1	419	25.9	547	47.8	340	70.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 671百万円 (384.7%) 25年3月期第1四半期 138百万円 (24.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.88	—
25年3月期第1四半期	13.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	67,209	35,544	52.9
25年3月期	66,062	35,059	53.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 35,526百万円 25年3月期 35,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	70,000	9.1	700	△29.0	750	△31.6	500	3.1	19.08
通期	145,000	6.2	1,500	△31.7	1,550	△31.7	1,000	△21.6	38.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	26,535,508 株	25年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	299,058 株	25年3月期	332,792 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	26,218,317 株	25年3月期1Q	26,114,052 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(26年3月期1Q246,900株、25年3月期280,700株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策を背景に、輸出や生産の持ち直し、企業収益の改善など明るい兆しが見え始めました。しかしながら、中国経済の減速や輸入価格の上昇など、国内景気を下押しするリスク要因もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、米国の作付け遅れや需給の引き締めから高値水準で推移しており、また、為替も円安で推移していることから、原材料価格は上昇しております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を値上げしましたが、原材料価格の上昇全てを転嫁できなかったことや飼料価格安定基金の負担金上昇による費用の増加など、厳しい事業環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは原料高騰に対応するために、原料調達国多様化の推進、原料の有効的利用によるコストダウン等を実施し、原価の低減に注力しました。また、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高367億35百万円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益6億68百万円（前年同四半期比59.5%増）、経常利益7億84百万円（前年同四半期比43.2%増）、四半期純利益4億95百万円（前年同四半期比45.3%増）となりました。

主力の畜産飼料において、販売量が前年同四半期を若干下回ったものの、平均販売価格が上回ったことにより、売上高は15.2%の増収となりました。営業利益は、飼料価格安定基金負担金の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、原価低減の推進による売上総利益率の上昇や高付加価値製品の拡販などにより、59.5%の増益となりました。特別利益の減少や営業外費用及び特別損失の増加などにより、四半期純利益は45.3%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、平均販売価格が前年同四半期を上回ったことから、前年同四半期比16.4%増の309億41百万円となりました。セグメント利益は、飼料価格安定基金負担金の増加があったものの、原価低減活動による原価率の低下や高付加価値製品の拡販などにより、前年同四半期比37.8%増の5億42百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

自社開発の畜産物取扱量、ペットフードの販売量ともに増加したことにより、売上高は、前年同四半期比8.4%増の39億78百万円となりました。セグメント利益は、競争激化により利益率が低下したものの、増収効果により前年同四半期比2.3%増の51百万円となりました。

(その他)

売上高は、前年同四半期比10.7%増の18億15百万円、セグメント利益は、前年同四半期比161.0%増の1億40百万円となりました。増益となった主な理由は、畜産用機器の増収効果によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億46百万円増加の672億9百万円となりました。流動資産は407億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億1百万円増加しました。これは主に商品及び製品が2億19百万円、原材料及び貯蔵品が3億12百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が9億94百万円、その他の流動資産が7億60百万円増加したことによるものであります。固定資産は264億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少しました。これは主に建設仮勘定が1億30百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ6億60百万円増加の316億64百万円となりました。流動負債は257億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1百万円増加しました。これは主に未払法人税等が2億76百万円減少したものの、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が10億9百万円増加したためであります。固定負債は58億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円増加しました。これは主に、退職給付引当金が13百万円、その他の固定負債が46百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4億85百万円増加の355億44百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億85百万円、繰延ヘッジ損益が1億58百万円増加したことによるものであります。純資産の増加を総資産の増加が上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少の52.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年 3 月期の業績予想につきましては、平成25年 5 月 8 日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054	1,009
受取手形及び売掛金	28,563	29,557
商品及び製品	2,289	2,070
仕掛品	573	664
原材料及び貯蔵品	5,414	5,102
その他	1,826	2,587
貸倒引当金	△310	△279
流動資産合計	39,411	40,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,914	6,819
機械装置及び運搬具（純額）	5,864	5,907
工具、器具及び備品（純額）	618	600
土地	7,153	7,155
リース資産（純額）	7	25
建設仮勘定	130	—
有形固定資産合計	20,688	20,507
無形固定資産		
のれん	8	6
その他	1,545	1,466
無形固定資産合計	1,554	1,473
投資その他の資産		
投資有価証券	3,361	3,453
長期貸付金	1,164	1,127
その他	730	767
貸倒引当金	△848	△834
投資その他の資産合計	4,408	4,515
固定資産合計	26,650	26,495
資産合計	66,062	67,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,823	10,880
短期借入金	9,400	10,800
1年内返済予定の長期借入金	1,768	1,377
未払法人税等	445	169
賞与引当金	353	252
役員賞与引当金	38	—
その他	2,357	2,307
流動負債合計	25,185	25,787
固定負債		
長期借入金	3,977	3,988
退職給付引当金	374	387
債務保証損失引当金	87	85
資産除去債務	82	82
負ののれん	41	31
その他	1,254	1,301
固定負債合計	5,817	5,877
負債合計	31,003	31,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	28,477	28,763
自己株式	△208	△187
株主資本合計	33,318	33,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,158	1,170
繰延ヘッジ損益	587	745
為替換算調整勘定	△16	△15
その他の包括利益累計額合計	1,729	1,901
少数株主持分	11	18
純資産合計	35,059	35,544
負債純資産合計	66,062	67,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	31,888	36,735
売上原価	28,592	33,148
売上総利益	3,295	3,586
販売費及び一般管理費		
運賃	591	611
飼料価格安定基金負担金	736	892
のれん償却額	19	2
賞与引当金繰入額	143	159
貸倒引当金繰入額	23	△28
その他	1,362	1,279
販売費及び一般管理費合計	2,876	2,918
営業利益	419	668
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	49	59
保管料収入	26	27
負ののれん償却額	22	10
貸倒引当金戻入額	35	18
債務保証損失引当金戻入額	0	1
持分法による投資利益	8	—
その他	34	56
営業外収益合計	181	177
営業外費用		
支払利息	23	21
保管料原価	23	23
持分法による投資損失	—	14
その他	6	1
営業外費用合計	53	61
経常利益	547	784
特別利益		
固定資産売却益	1	0
補助金収入	9	—
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	7
投資有価証券評価損	9	14
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	12	22
税金等調整前四半期純利益	546	762
法人税、住民税及び事業税	57	172
法人税等調整額	150	90
法人税等合計	207	262
少数株主損益調整前四半期純利益	338	499
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△1	4
四半期純利益	340	495

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	338	499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	11
繰延ヘッジ損益	△134	158
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益合計	△200	172
四半期包括利益	138	671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139	666
少数株主に係る四半期包括利益	△0	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,577	3,671	30,248	1,639	31,888	—	31,888
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	144	0	144	1	146	△146	—
計	26,721	3,671	30,393	1,641	32,034	△146	31,888
セグメント利益	393	50	444	53	497	48	546

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△265百万円、金融収支266百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	30,941	3,978	34,919	1,815	36,735	—	36,735
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	181	0	181	13	195	△195	—
計	31,123	3,978	35,101	1,829	36,931	△195	36,735
セグメント利益	542	51	593	140	734	27	762

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△249百万円、金融収支283百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。